

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	山梨県	事業実施主体	大月市	地域再生計画名	大月市「アユ踊る清流育む自然豊かなまちづくり」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	大月市地域再生計画評価委員会 委員長 上條 正巳		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度			
	指標1	汚水処理人口普及率	41.1%	H25	45.2%	H29	44.6%	52.1%	H31	△	汚水処理人口普及率の向上が見られ、着実な整備効果が認められる。しかしながら、中間目標値には僅かに届いていないため、さらなる普及啓発が必要である。本計画により整備される下水道区域の早期の供用開始が望まれる。
	指標2	アユ釣り来訪者の増加	22,000人	H25	24,000人	H29	22,500人	27,000人	H31	△	H25年度の基準値から増加しており、一定の効果が認められる。しかしながら、目標値には到達していないため、さらなる水質改善、アユ釣り来訪者を呼び込む施策、効果的なPRが必要である。
	指標3	観光人口の増加	439,000人	H25	491,000人	H29	406,000人	527,000人	H31	△	H25年度の基準値から減少している。これは、H29年8月7日の豪雨災害による岩殿山登山道の崩落等の影響と推察される。H30年度の数値で、観光人口の回復具合を確認し、対策していく必要がある。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H29）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（整備延長）		850m	125m	490m	流域幹線流入点工事の設置時期の調整により、整備区域の供用開始が遅れているが、当該区域の供用開始により、大幅な汚水処理人口普及率の向上が見込まれるため、引き続き事業実施を行いたい。					
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		305基	98基	182基	汚水処理人口普及率の向上が図られた結果、河川水質が改善され、アユ釣り来訪者が増加した。さらなる汚水処理人口普及率の向上を図るべく、引き続き事業実施を行いたい。					
その他の事業											
計画外で独自に実施した事業	JR大月駅周辺整備事業		駅周辺の整備を推進			大月市立地適正化計画に基づき、大月駅とその周辺を一体的に整備することにより、観光・交流の拠点としての機能向上が図られ、観光客の増加に結び付くことが期待される。					
	岩殿山かがり火祭り		市最大のお祭りで、市内外から多くの人が訪れる事業			阿波踊りをはじめとして、さまざまなイベントで賑わい、交流人口の増加につながったと考えている。					
	軽トラ市事業		軽トラックによる模擬店で、地域資源を生かした商品を販売する事業			多くのお店とさまざまなイベントで賑わい、交流人口の増加につながったと考えている。					
④評価方法	大月市地域再生計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	大月市地域整備課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	汚水処理人口普及率の向上が図られた結果、河川水質が改善され、アユ釣り来訪者が増加する等、着実な整備効果が認められる。浄化槽設置基数を目標値に近づけることにより、さらなる効果が見込まれるため、より一層の普及啓発が必要である。また、本計画により整備される下水道区域の供用開始により、大幅な汚水処理人口普及率の向上が見込まれるため、早期の流域幹線流入点の設置が望まれる。										
⑦今後の方針等	着実な整備効果が認められるため、引き続き事業を実施し、計画期間を下水道整備効果が見込まれる平成33年度まで2年間延長することとしたい。また、さらなる汚水処理人口普及率向上を図るべく、普及啓発活動をより一層強化していきたい。										